

特集1
Special Edition

未来への投資

すべての人にブロードバンドを

町が揺れている――

都市部との情報格差を解消するため、町が進める「光ファイバ網整備計画」
実施期間2年間、最大16億円の事業費を投じる一大プロジェクトだ
事業の概要を説明するため、各地区で開かれた住民説明会

そこには、期待、展望、不安、懸念、疑問……さまざまな声飛び交っていた
果たして本事業は、町の未来を照らす「光」となり得るのだろうか
現状を、ありのまま伝えたい

【本特集の用語解説】

◎情報格差「デジタルデバイド」

ここでいう情報格差とは「通信格差」を指す。ブロードバンドを利用できる地域とできない地域との情報アクセスへの格差のこと。主に都市部と山間部・離島などの地域格差をいう。

◎ブロードバンド

高速インターネット接続サービスのこと。電話回線と同じ銅線を使うADSL、ケーブルテレビ回線を利用した接続サービス、光ファイバを直接家屋に引き込むFTTH（後述）などがある。

◎光通信（光回線）

光ファイバを利用した通信。従来のADSL回線と比較して、高速大容量の通信が可能であり、最も安定性に優れている。

◎ADSL回線

電話回線を使ってコンピュータのデータを伝送する高速通信システム。

◎ISDN回線

電話回線をデジタル化することで、電話やファクス、データ通信などを統合して

扱うことができるデジタル通信網。

◎ケーブルテレビ

電波を飛ばして放送する地上波テレビと異なり、ケーブル（通信線）を使って番組を送信するテレビ放送のこと。近年では電話サービス、高速インターネット接続サービスなどを提供する局も増えている。

◎アナログ回線

アナログ信号で音声やデータを送受信する回線。一般的な電話回線。

◎ダイヤルアップ接続

電話回線やISDN回線などを通じてインターネットなどに接続すること。

◎モバイルデータ通信

有線のインターネット接続と異なり、無線通信を使って高速インターネット接続する方法。

◎bps [ビーピーエス]

1秒間に何ビットのデータが流れるかを表す単位。

◎Jアラート

全国瞬時警報システム。通信衛星と市町村の同報無線を利用し、緊急情報を住民に対して瞬時に伝えるシステム。

◎インフラ

産業や生活の基盤となる公共施設や公共設備のこと。上下水道や道路、鉄道、電気、電話、ガス、学校、病院、通信回線などが挙げられる。

◎プロバイダ

インターネットに接続するためのサービスを提供する企業のこと。

◎FTTH [エフティーティーエイチ]

光ファイバを個人の住宅まで直接引き込み、高速通信環境を構築する方法。ファイバー・トゥ・ザ・ホームの頭文字。

◎E-Japan [エジャパン] 構想

すべての国民が情報通信技術を活用できる、日本型IT社会を実現するための国の構想。